下線部：2012年6月に追記しました。

この説明書は本剤とともに保管し、
服用に際しては必ずお読み下さい。

かぜ薬

小児用ロイム液

第②類医薬品

小児用ロイム液は、解熱、鎮痛にアセトアミノフェン、気管支を拡げ、せきを鎮めるdℓ-メチルエフェドリン塩酸塩に無水カフェインを含有し、頭痛、関節の痛みにすぐれた効果をあらわす液剤です。

⚠使用上の注意

本剤は、小児用ですが、かぜ薬として定められた一般的な注意事項を記載しています。

してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります）

1. 次の人は服用しないで下さい
   (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
   (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないで下さい
   他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等）
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないで下さい
   （眠気等があらわれることがあります）
4. 服用前後は飲酒しないで下さい
5. 長期連用しないで下さい

相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい
   (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
   (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
   (3) 授乳中の人。
   (4) 高齢者。
   (5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
   (6) 次の症状のある人。
   高熱、排尿困難
   (7) 次の診断を受けた人。
   甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、 高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい

関係部位	症　状
皮　膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
泌尿器	排尿困難
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症　状
ショック（アナフィラキシー）	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス·ジョンソン症候群）、中毒性表皮壊死融解症、急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする·息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい
   口のかわき、眠気
4. 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい

成分と作用 本品30mL 中

成　分	分　量	作　用
アセトアミノフェン	300mg	熱を下げ、痛みをしずめます。
dℓ-メチルエフェドリン塩酸塩	20mg	気管支を広げ、呼吸を楽にして、せきをしずめます。
クロルフェニラミンマレイン酸塩	3mg	くしゃみ・鼻水・鼻づまりなどのアレルギー症状をおさえます。
無水カフェイン	75mg	頭痛をしずめます。

添加物として、エタノール、l-メントール、クエン酸Na、塩化Na、安息香酸Na、パラベン、カラメル、白糖、サッカリンNa、D-ソルビトール、バニリン、プロピレングリコール、香料を含有します。

効能又は効果

かぜの諸症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和。

せき・たん	のどの痛み	鼻水・鼻づまり	発熱・悪寒

用法及び用量

次の量を添付の目盛りつきコップ（10mL）ではかり、服用して下さい。

年　齢	1回量	用法及び用量
3才以上　7才未満	3mL	1日3回食後および必要な場合には、就寝前に服用するものとし、また場合によっては、1日6回まで服用することとしても差し支えありませんが、1日6回服用する場合には、原則として約4時間の間隔をおいて服用して下さい。
1才以上　3才未満	2mL	
3ヵ月以上　1才未満	1.5mL	
3ヵ月未満	服用しないこと	

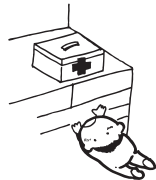
＜用法及び用量に関連する注意＞

(1) 用法及び用量を厳守して下さい。
(2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させて下さい。
(3) 2才未満の乳幼児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させて下さい。

＜かぜの養生法＞

感冒にかかった時には症状に応じて適当な手当が必要でしょう。
◎空風に当たらない様に。
◎休養と栄養を十分に。
◎発熱時は必ず休み無理をさけましよう。

保管及び取扱い上の注意

(1) 直射日光の当たらない涼しい所に密栓して保管して下さい。
(2) 小児の手のとどかない所に保管して下さい。
(3) 他の容器に入れ替えないで下さい。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります。)
(4) 使用期限を過ぎた製品は服用しないで下さい。
(5) いったん開封後は、品質保持の点からなるべく早く服用して下さい。

■お問い合わせ先.
伊丹製薬株式会社　お客様相談室　TEL 0740-22-2059
受付時間：9時から16時30分まで（土、日、祝日を除く）

副作用被害救済制度
☎0120−149931

滋賀県高島市今津町下弘部280番地

2PP1